

「令和5年度市民と議員の懇談会」における参加者意見を踏まえた  
市長、教育長への提言事項

1. 高齢者や学生、一関市を訪れる観光客などが市内の移動に不便さを感じていることから、バス運行（路線、時間）の見直しとデマンド型乗合タクシーの拡充、列車の増便について対策を講じ、多様な移動手段を確保・提供することで利用者のニーズに応えること。併せて、運行情報のデジタル化により利便性を向上させること。
2. JR一ノ関駅の利便性の向上と同駅前周辺の賑わいを創出するため、東西自由通路の整備を進めるほか、NEC跡地を含む同駅前周辺を整備する際には、若者の意見や要望を十分聞き取り、計画を策定すること。
3. 一関市を若者に注目してもらうため、SNSや動画プラットフォームを活用して、若者が興味を持つ情報を発信すること。また、若者を巻き込んで、市の魅力を伝えるコンテンツを共同で制作し、意見やアイデアを取り入れるなど、市の魅力を伝える取組に若者の参画を促すこと。
4. 若者が地域の発展や課題解決に積極的に参画できる仕組みを構築し、若者が活躍する地域づくりを進めること。
5. 外国人労働者を受入れるための環境づくりとして、外国人が一関市での生活に困らないよう各種支援体制を整えること。また、地域住民と外国人がお互いの文化に理解を深めるための取組を進めること。
6. 移住定住促進の一環として、個人の趣味を通じた移住者と地域住民とのつながりの構築を検討すること。
7. ふるさと納税の返礼品について、地域の魅力を生かした体験型メニューを追加するなど、さらなる充実を進めること。

8. 市民が利用する体育施設などの公共施設について、市民の要望や安全性を考慮しながら、適切に管理（修繕、設備更新など）すること。また、閉校した校舎の有効活用や施設の統廃合を検討する際には、地域住民の公共施設に対する需要（利用状況等）の変化や要望を十分に配慮すること。
9. 学生起業家向けの相談窓口の充実、学生起業家と各種事業者との交流機会の構築、空き店舗を活用した開業支援などを行い、学生起業家のサポートを強化し、若者が挑戦できるまちづくりを進めること。
10. 農畜産物のブランド化、森林資源の有効活用、TGCなどのイベントと連携した滞在型観光の提供など、一関市の魅力発信を行い、地域産業の活性化を図ること。
11. 既存公園内の遊具やトイレの適正管理（修繕、清掃）を行うとともに、若者や子育て世代が利用したくなるような公園の増設を検討すること。
12. 若者が学んだ知識や技術を生かせるよう多様な職種や職場の確保に努めるとともに、地域の特性を生かした新たなビジネスの創出を図り、若い人材の受け皿を構築すること。
13. 既存の商店や周辺環境への影響などを踏まえながらも、若者や子育て世代に魅力ある商業施設の誘致について検討を進めること。
14. 青少年が地域の一員としての自主性や社会性を持ち、個性や能力を発揮することができるよう、学校などとの協力のもとボランティア活動や地域活動への参加を促進すること。
15. 地域医療体制の充実に努めること。
16. 自治会等における防犯灯の拡充に努めること。
17. 通学路や未就学児が日常的に集団で移動する経路などの安全対策の充実に努めること。

18. 発達支援の充実により、早期療育支援につながるよう努めるとともに、保護者支援に努めること。

19. 延長保育、一時保育、障がい児保育、休日保育、病児保育など、様々な保育ニーズへのきめ細やかな対応に努めること。